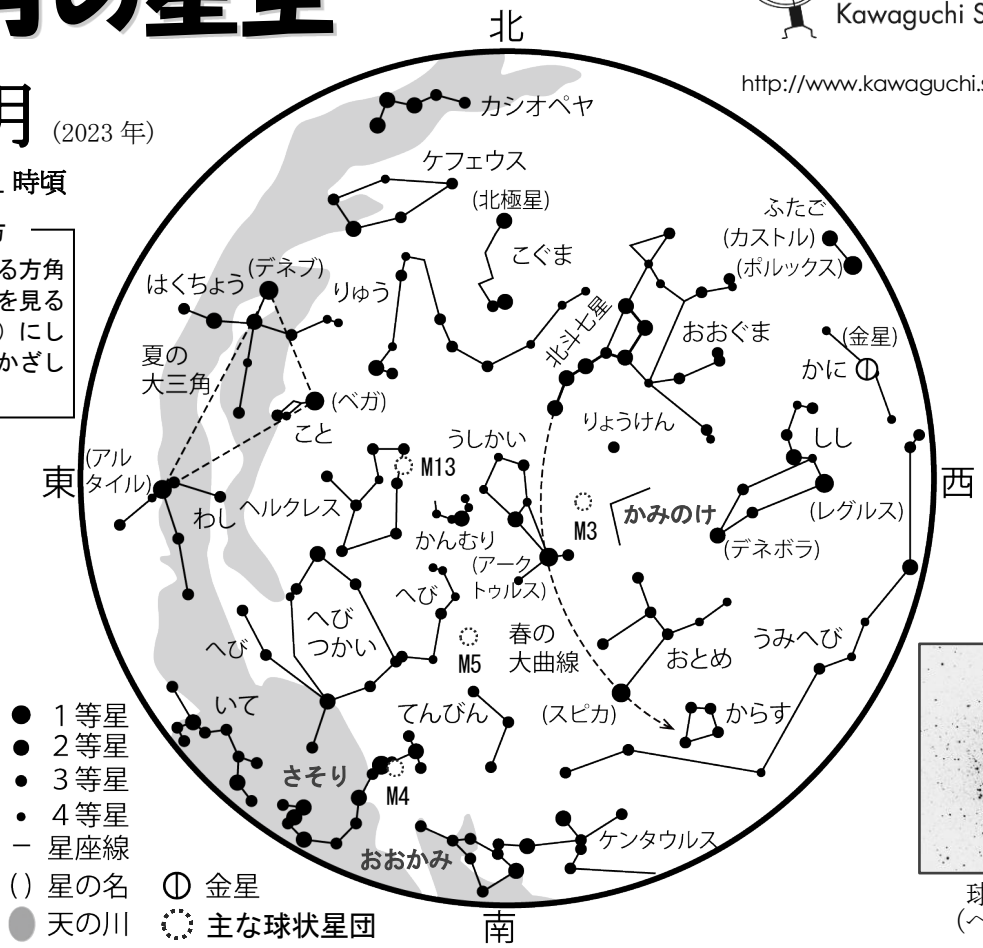
今月の星空

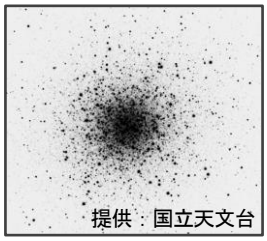
川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum
tel 048(262)8431
http://www.kawaguchi.science.museum/

6月 (2023年)

中旬 21時頃

星図の見方
自分が見ている方角を下（西の空を見るときは西を下）にして、頭の上にかざして見ます。





球状星団 M13
(ヘルクレス座)

月　　齢　○満月 4日、◑下弦 11日、●新月 18日、◐上弦 26日

惑星情報

金星 日の入り後 西(ふたご→かに→しし座 −4等→−5等)　　火星 夜のはじめ頃 西(かに→しし座 2等)
木星 日の出前 東(おひつじ座 −2等)　　土星 真夜中過ぎ 東から南東(みずがめ座 1等)

☆見ごろのアークトゥルスと夏の到来

21日の夏至は太陽が一年で最も高く昇るときで、川口市での南中高度は約78度。日の入りも下旬には最も遅い19時02分となります。まずは、そんな宵の西の空で一番星として輝く金星を見つけましょう。南の空へ目を移せば、うしかい座のアークトゥルスが目を引きます。川口市から観察できる恒星（高度の低い天体を除く）の中では、−1.46等のシリウスに次ぐ、−0.04等で輝きます。

東の空には夏の星座のヘルクレス座が昇ってきました。ギリシャ神話に登場し、12の大冒険を行った英雄です。夜空でもヘルクレス座が登場すると、ヘルクレスに退治された人食いライオン（しし座）やヒドラ（うみへび座）、化けガニ（かに座）などの怪物たちがそそくさと西に退散しているように見えます（星図参照）。ヘルクレス座にある天体では、北天で最大級の球状星団M13が有名です。

☆輝く金星の素顔～月と金星の隠れた共演～

惑星の中で最も明るい金星の英語名はヴィーナス(Venus)。神話の愛と美の女神に由来します。そんな美しい輝きを見せる金星の素顔は少し意外かもしれません。それは望遠鏡で見ると月のように満ち欠けして見えるためです。例えば、6月4日の東方最大離角（地球から見て太陽から最も離れる位置）のときは半月状（輝面比※1 0.50）、7月7日の最大光度（−4.7等）のときは、さらに欠けた三日月状（輝面比0.27）です。

右図は、6月21日～24日の月と金星の位置関係です。24日に注目すると、望遠鏡を使えば、月（月齢6.3/輝面比0.32）と同じような形の金星（輝面比0.37）を見ることができます※2。

※1 輝面比（率）…月や惑星の全面に対して光っている部分の割合。
※2 金星の欠けた様子は肉眼では見えません（視直径は月の約60分の1）。

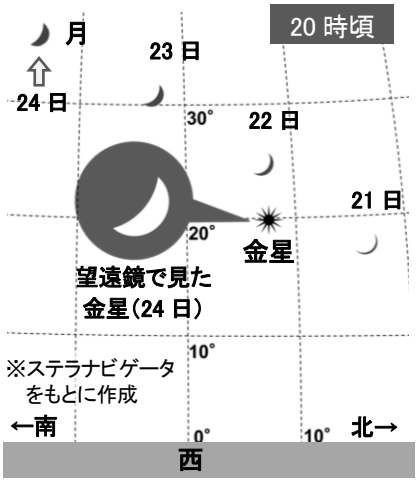


図 6月21日～24日の月と金星